

「SDGs」を意識したCSR活動

文部科学大臣賞を受賞したテレビ東京の「校外学習活動」は、持続可能な社会を目指した「SDGs」も意識しています。

子どもたちに「環境にやさしい名刺」を配布

右の写真は校外学習で来社した子どもたちにプレゼントしている名刺です。まるで社員の名刺のようにできていますが、この名刺は**バナナの茎を使った「ナナナ(バナナ)ペーパー」**できています。バナナの茎は伐採しても1年で元に戻るため、環境にやさしいのです。またアフリカのザンビアでつくってもらうことで、人々の暮らしの糧にもなっています。未来を担う子どもたちに環境問題や貧困問題にも目を向けてほしいという願いを込めて配布しています。



石灰石でできたクリアファイル

校外学習プログラムの資料は、ナナのイラストの入ったファイルに入れて子どもたちに渡しています。このファイルはプラスチックではなく石灰石でできているため、最終的には自然に戻るのです。プラスチックごみやビニールごみを減らそうという問題に対する取り組みです。SDGsロゴマークもプリントしているので、17の目標がわかります。

“国連”と“池の水”

テレビ東京では、国連広報センター所長の根本かおるさんによる社員向けの講習会を開いてSDGsについて学びました。そして秋には、港区にある企業のCSR担当部署と協力して、名物番組「池の水ぜんぶ抜く大作戦」の伊藤隆行チーフプロデューサーによるSDGs講演会を港区民向けに行いました。「池の水」とSDGsの関係、おもしろいです。



根本かおる所長による勉強会



伊藤CPが港区で講演

テレビ東京はSDGsを自分ごととして考え、できるところから取り組みを始めています。

SDGs (エス・ディー・ジーズ)とは…「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。